

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県 綾町

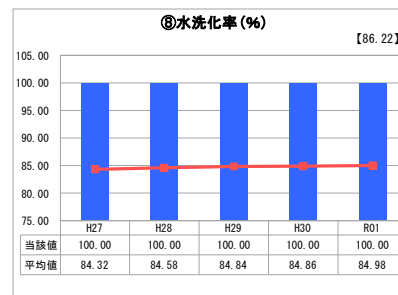
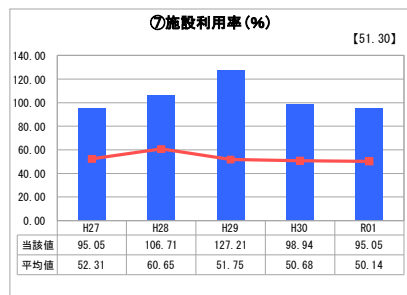
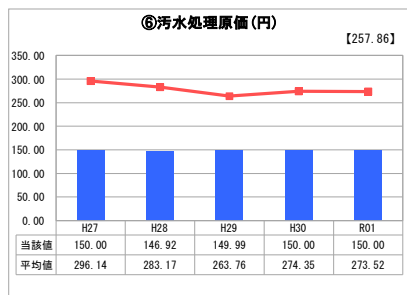
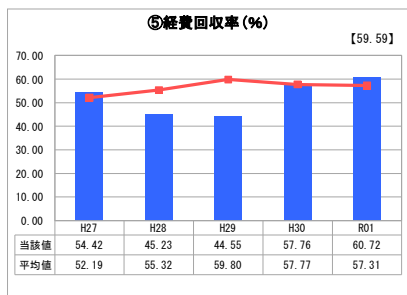
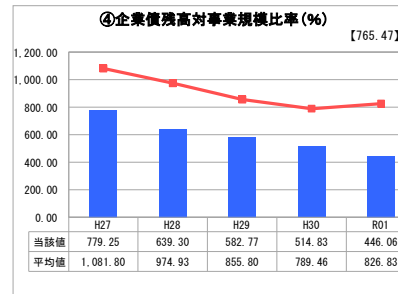
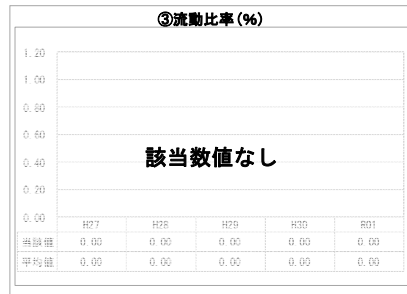
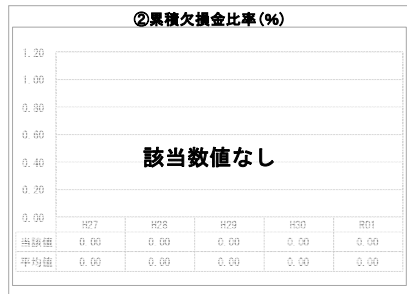
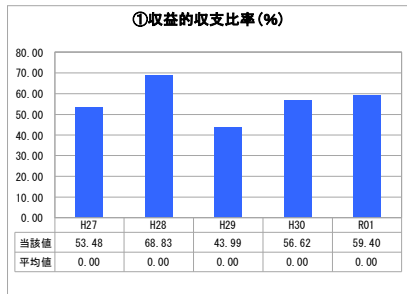
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.60	100.00	2,920

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,318	95.19	76.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
116	0.12	966.67

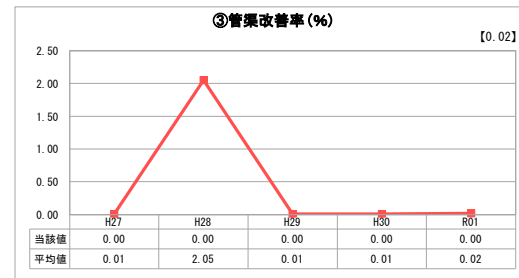
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、100%を下回る数値で推移しており、経営の健全性を高める必要がある。
 ⑥汚水処理原価及び⑦施設使用率は、類似団体及び全国平均よりも優位な数値となっており、現時点では一定の経営の効率性が保たれている。
 ⑤経費回収率は、類似団体及び全国平均を上回っており、使用料収入以外の収入である一般会計からの繰入金に頼っている状況から若干は解消されている。
 実情に応じた料金体系の見直しを行うことにより、①収益の収支比率は改善される見込みである。また、料金体系の見直しで収益が上がることにより、⑤経費回収率も改善される見込みである。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に供用開始した事業である。
 平成28年度に施設の機能診断及び最適整備構想を策定しており、今後は診断結果に基づいた更新を計画的に行い、改善に努めていく。

全体総括

事業の費用を一般会計からの繰入金に頼っているのが現状である。
 平成29年度に経営戦略を策定し、料金改定の必要性も明確になった。
 令和6年度の地方公営企業会計適用に向けて料金体系を見直す予定であり、これにより汚水処理収益が増加し、収益の収支比率、経費回収率等が改善する見込みである。
 平成28年度に施設の機能診断及び最適整備構想を策定しており、今後は診断結果に基づいた更新を計画的に行い、老朽化対策として設備の改善に努めていく。
 今後は経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。